



「やさしさ」を抱きしめよう

第130号

平成28年2月発行

編集・発行

社会福祉法人

松野町社会福祉協議会

〒798-2101

北宇和郡松野町大字松丸1661-13

TEL (0895) 42-0794

FAX (0895) 20-5311

まつの 社協だより

福祉のつどい

開催報告

松野町社協では、住民の方が福祉を身近に感じ、地域の福祉課題などに気づき、参加された住民の方同士や社協とがつながりをつくり、関係性を築いていけることを願って、「福祉のつどい」を開催しています。

今回は、中元幸美氏（理学療法士・足指インストラクター）より『子どもも大人も元気な体は足元から』をテーマに、足育についてご講演いただきました。足は第二の心臓といわれ、さまざまな運動を支える足・足指に着目した「足育」を通して、健康な体を作り、健康な生き方について学びました。

講演前には、フレンドさんのパン屋さんによる移動販売や、ボランティアの廣澤さんにバルーンアートを教わったり、地域の子どもから大人まで参加していただきました。



「ふ・く・し」ってなあに？

松野町社協では、「人を大切にする」、「命を大切にする」ことを考え、人と共に生きることを学ぶ福祉教育を目指して取り組んでいます。

「福祉」という言葉を聞くと、「弱い立場の人を助けてあげること」という考え方が浮かぶかもしれません。「福祉」には、地域で暮らすすべての人を対象とした **ふ** だんの **く** らしの **し** あわせ という意味があります。

一人ひとりが困っている人に寄り添い、相手の立場になって考える、思いやりの心を持つことが大切です。

地域や学校で、「ふだんのくらしのしあわせ」について、みんなで一緒に考えました。

西小

元気をお届けしました



西小学校5年生が、福祉学習のなかで、松野町社協が実施している給食サービス事業に協力していただき、地域の高齢者宅などにお弁当をお届けしました。

訪問前には、身近な福祉やボランティアについて学習し、自分たちに何ができるのか考えました。子どもたちは、訪問した高齢者の方に自分たちの事をいつも思い出してほしいという思いから、それぞれ名刺を作り、訪問時に手渡ししながらお話をしていました。

子どもたちは活動を通して、地域の人を知り、これから「できること」や「したいこと」について考えました。子どもたちからは「給食サービスでお弁当を渡した人が、みんな笑顔でニコニコしていたので嬉しかったです。またしたいです。」「地域の人と積極的にあいさつをしたい。」「人とのきずなを大事にしたい。そして松野町をもっと笑顔あふれる町にしたい。」などの感想がありました。

今回の出会いが、日常的なつながりへと広がっていくことを願っています。



東小

みんなでラケット野球するぞ！

東小学校3・4年生では、総合的な学習の時間に「福祉」について学びました。

町内にお住まいの井上聡さんを講師に迎え、普段の生活の様子や、車イス陸上競技で出場されたパラリンピック・世界選手権大会などについての話をうかがいました。子どもたちは、井上さんと一緒に野球がしたくて、特別ルール of ラケット野球を考えたり、給食を食べたり、競技用の車イスを体験したりしながら、「障がい」についてだけでなく、井上さん自身について知る機会になりました。



南小

「ジュニア」と「^{ジュ}寿ニア」の交流会

南小学校のみなさんと社協の生きがい活動目黒地区「ゆきわ会」参加のみなさんと一緒に、昔あそびをしました。伝統的なあやとりを高齢者が教え、現代風あやとりを子どもたちが教え、互いに教え教わりました。高齢者から「いつも子どもたちの笑顔を見守りながら、元気をもらっている」と日頃の感謝を伝えられていました。



「楽しい気持ち」は みんな同じ！



フレンドさんで、ミュージック・ケアを行いました。フレンド利用者さん、地域の親子のみなさん、サロン参加者やボランティアさんなど、約50名が参加され、音楽に合わせて鈴や鳴子を鳴らしたり、新聞紙を破ったりしながら体を動かしました。



地域には、子どもから大人まで、様々な人が暮らしています。みんなそれぞれ、顔も体格も、好きなものや得意なもの、考え方も違ってきます。でも、音楽に合わせて一緒に体を動かしたり、だれかの笑顔を見ていたら、みんな笑顔になりました。しあわせの感じ方はそれぞれ違うけど、しあわせを感じる心はみんな同じように持っています。

老人クラブ活動紹介

延野々老人クラブ若葉会



老人クラブ活動は全国的に、若手をはじめ会員減少や役員のなり手不足、活動費の減少など様々な理由で、活動の停滞が指摘されております。

延野々老人クラブ若葉会は、約60年の歴史をもつ会員130名の単位老人クラブ。

しかし、若葉会は1年の休会を経て、活動を再開したクラブです。休会中に改めてクラブ活動の意義を認識し、活発な活動を生み出してきました。その成果がたたえられ、全国老人クラブ連合会から「2015仲間づくり活動賞」を受賞しました。

春には「お花見会」を通じて中学生と交流を行ない、敬老の日は「お茶のみ、おしゃべり会」、男性が主役の料理教室では、女性会員を招いて食事で交流、ゲートボールや卓球などユニークな活動を展開しています。

活動費は、何と云ってもしめ縄づくり！役場や公共機関向けに特注しめ縄を作成、部落各戸からの受注もあり、毎年たくさんの売上収入を得て、伝統文化の伝承と併せて、楽しい活動につなげております。

